

# 5号認定 売上高等確認表

## 1. 主たる業種の確認

(単位:千円)

	日本標準産業分類		最近1年間の売上高等 (直近ベース)	構成比	主たる業種に 「○」を記入
	細分類番号	細分類業種名			
指定業種				%	
				%	
				%	
	小計			%	
非指定業種				%	
				%	
企業全体				100%	

※主たる業種とは、最近1年間の売上高等が最も大きい事業が属する業種をさします。  
 ※この表の業種は「日本標準産業分類(平成25年10月改定)」に基づき細分類番号と細分類業種名を記載してください。

## 2. 売上高等の確認

【最近1か月(又は最近6か月間の平均)を含めた今後3か月分の売上高等及び売上高等見込み】

売上高等	令和 年 月	令和 年 月	令和 年 月	Aの期間後2か月間 の見込み売上高等	今後3か月 合計売上高等
指定業種 (注1)	A 千円	C1 (見込み) 千円	C2 (見込み) 千円	C=C1+C2 千円	E=A+C 千円
企業全体	a 千円	c1 (見込み) 千円	c2 (見込み) 千円	c=c1+c2 千円	e=a+c 千円

(注1) イ(5)の場合、[1. 主たる業種の確認]で確認した指定業種のうち、主たる業種の売上高等を記入してください。  
 ※A・aにおいて「最近6か月間の平均売上高等」を使用する場合、A・aの年月を2重線で消し、「令和〇年〇月~〇月の平均」と記載してください。  
 この場合、下のB・bの年月も同様に記載してください。  
 ※千円未満切捨てで記載してください。

【前年等(注2)同期の売上高等】

前年等	令和 年 月	令和 年 月	令和 年 月	Bの期間後2か月間 の売上高等	前年等同期 合計売上高等
指定業種 (注1)	B 千円	D1 千円	D2 千円	D=D1+D2 千円	F=B+D 千円
企業全体	b 千円	d1 千円	d2 千円	d=d1+d2 千円	f=b+d 千円

(注2)前年同期のいずれかの月が本感染症の影響を受けた後の期間に含まれる場合、当該月に代えて本感染症の影響を受ける直前同期(前々年等)の月を比較対象とします。

## 3. 最近1か月間(又は最近6か月間の平均)の売上高等の減少額

指定業種	$B - A =$	千円	企業全体	$b - a =$	千円
------	-----------	----	------	-----------	----

## 4. 3の期間を含めた3か月間の見込み売上高等の減少額

指定業種	$F - E =$	千円	企業全体	$f - e =$	千円
------	-----------	----	------	-----------	----

取扱金融機関等記入欄 ※申請者以外の方が代理申請を行う場合に記入してください	
上記の内容について、事実と相違ないことを確認しました。 令和 年 月 日	
(代理申請者) 所在地 法人名 支店名 担当者氏名	

上記の内容について、事実と相違ありません。  
 令和 年 月 日  
 (申請者)  
 事業所住所  
 名称  
 氏名  
 (代表者名)

5号認定 売上高等確認表

イ(4)記載例

1. 主たる業種の確認

(単位:千円)

指定業種	日本標準産業分類		最近1年間の売上高等 (直近ベース)	構成比	主たる業種に 「○」を記入
	細分類番号	細分類業種名			
指定業種	5222	酒類卸売業	9,000	90%	○
	5851	酒小売業	1,000	10%	
	小計		10,000	100%	
非指定業種				%	
企業全体			10,000	100%	

売上高等とは、売上高又は販売数量  
(建設業にあつては、完成工事高又は  
受注残高)を指します。

※主たる業種とは、最近1年間  
※この表の業種は「日本標準

最近1か月は申請月の前月とするが、  
売上高等が確定していない場合は、  
前々月や前々々月でも可能とします。

最近1か月の売上高等での比較が適当でない特段の事  
情(月々の売上高等が安定していない等)がある場合、  
「最近6か月間の平均売上高等」でも可能とします。

2. 売上高等の確認

【最近1か月(又は最近6か月間の平均)を含めた今後3か月間の見込み売上高等及び売上高等見込み】

売上高等	令和 5年 1月	令和 5年 2月	令和 5年 3月	Aの期間後2か月間 の見込み売上高等	今後3か月 合計売上高等
指定業種 (注1)	A 千円	C1 (見込み) 千円	C2 (見込み) 千円	C=C1+C2 千円	E=A+C 千円
企業 全体	a 1,000 千円	c1 (見込み) 1,250 千円	c2 (見込み) 1,250 千円	c=c1+c2 2,500 千円	e=a+c 3,500 千円

(注1) イ(5)の場合、[1. 主たる業種の確認]で確認した指定業種のうち、主たる業種の売上高等を記入してください。  
※A・aにおいて「最近6か月間の平均売上高等」を使用する場合、A・aの年月を2重線で消し、「令和〇年〇月~〇月の平均」と記載してください。  
この場合、下のB・bの年月も同様に記載してください。  
※千円未満切捨てで記載してください。

令和3年2月から新型コロナウイルス  
感染症の影響を受けていた場合。

【前年等(注2)同期の売上高等】

前年等	令和 3年 1月	令和 2年 2月	令和 2年 3月	Bの期間後2か月間 の売上高等	前年等同期 合計売上高等
指定業種 (注1)	B 千円	D1 千円	D2 千円	D=D1+D2 千円	F=B+D 千円
企業 全体	b 1,800 千円	d1 1,500 千円	d2 1,400 千円	d=d1+d2 2,900 千円	f=b+d 4,700 千円

(注2)前年同期のいずれかの月が本感染症の影響を受けた後の期間に含まれる場合、当該月に代えて本感染症の影響を受ける  
直前同期(前々年等)の月を比較対象とします。

3. 最近1か月間(又は最近6か月間の平均)の売上高等の減少額

指定業種	$B - A =$	千円	企業全体	$b - a =$	800 千円
------	-----------	----	------	-----------	--------

4. 3の期間を含めた3か月間の見込み売上高等の減少額

指定業種	$F - E =$	千円	企業全体	$f - e =$	1,200 千円
------	-----------	----	------	-----------	----------

取扱金融機関等記入欄  
※申請者以外の方が代理申請を行う場合に記入してください

上記の内容について、事実と相違ないことを確認しました。  
令和 5年 2月 16日

(代理申請者)  
所在地 広島市中区大手町△△-△  
法人名 株式会社△△銀行  
支店名 □□支店  
担当者氏名 ◇◇◇◇

上記の内容について、事実と相違ありません。  
令和 5年 2月 15日

(申請者)  
事業所住所 広島市中区国泰寺町〇丁目〇-〇  
名称 株式会社△△△△△  
氏名 代表取締役 □□ □□  
(代表者名)

認定権者記載欄		

様式第5-イ(4)

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書イ(4)

[営んでいる事業がすべて指定業種に属する場合]

令和 年 月 日

広島市長 様

(申請者) 事業所住所

氏 名

私は、表に記載する業を営んでいますが、新型コロナウイルス感染症に起因して、下記のとおり、売上高等の減少が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

(表)


※営んでいる事業が属する業種を日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名で全て記載。

※当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等 (認定要件: (1)、(2)とも減少率 $\geq 5\%$ )

(1)最近1か月間の売上高又は最近6か月間の平均売上高 (該当する方の□に✓を入れてください)

$$\{(b - a) \div b\} \times 100$$

減少率 \_\_\_\_\_ % (実績)

(小数点第2位以下切捨て、第1位まで記載)

a : □ 最近1か月間の売上高 (令和 年 月)

□ 最近6か月間の平均売上高 (令和 年 月から令和 年 月)

a : \_\_\_\_\_ 千円

b : aの期間に対応する前年等1か月間の売上高

b : \_\_\_\_\_ 千円

(2) (1)の期間を含めた今後3か月間の売上高の実績見込み

$$\{(b + d) - (a + c)\} \div (b + d) \times 100$$

減少率 \_\_\_\_\_ % (実績見込み)

(小数点第2位以下切捨て、第1位まで記載)

c : aの期間後2か月間の見込み売上高

c : \_\_\_\_\_ 千円

d : cの期間に対応する前年等2か月間の売上高

d : \_\_\_\_\_ 千円

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

広 産 産 第 号

令和 年 月 日

申請のとおり相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

認定者名

広島市長

松井 一實

印

認定権者記載欄		

様式第5-イ(4)

**記載例**

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書イ(4)

[営んでいる事業がすべて指定業種に属する場合]

令和 5 年 2 月 15 日

広島市長 様

(申請者) 事業所住所 広島市中区国泰寺町〇丁目〇〇

氏 名 株式会社△△△△△△  
代表取締役 □□ □□

私は、表に記載する業を営んでいますが、新型コロナウイルス感染症に起因して、下記のとおり、売上高等の減少が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

(表)

5 2 2 2 酒類卸売業	5 8 5 1 酒小売業	

※営んでいる事業が属する業種を日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名で全て記載。

※当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等 (認定要件: (1)、(2)とも減少率 $\geq 5\%$ )

(1)最近1か月間の売上高又は最近6か月間の平均売上高 (該当する方の□に✓を入れてください)

$$\{(b - a) \div b\} \times 100$$

減少率 44.4 % (実績)

(小数点第2位以下切捨て、第1位まで記載)

a :  最近1か月間の売上高 (令和 5 年 1 月)

最近6か月間の平均売上高 (令和 年 月から令和 年 月)

a : 1,000 千円

b : aの期間に対応する前年等1か月間の売上高

b : 1,800 千円

(2) (1)の期間を含めた今後3か月間の売上高の実績見込み

$$\{(b + d) - (a + c)\} \div (b + d) \times 100$$

減少率 25.5 % (実績見込み)

(小数点第2位以下切捨て、第1位まで記載)

c : aの期間後2か月間の見込み売上高

c : 2,500 千円

d : cの期間に対応する前年等2か月間の売上高

d : 2,900 千円

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

広産産第 号

令和 年 月 日

申請のとおり相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

認定者名 広島市長 松井 一實 印